

### 結婚生活の修復 ホセア書 3:1-3

ホセア書の中心的なテーマは、不誠実な人間に対する神の誠実な愛です。皆さんにはこの中心的なテーマを見失ったり、この書の本当の意味とは異なる解釈をしたりしないでほしいのです。しかし、このホセア書で語られるホセアとゴメルの物語には、このホセア書のほんの一部に過ぎませんが、私たちが学ぶことのできる、人間の結婚に対する教訓が含まれています。これらの教訓はすべての結婚生活に当てはまるものですが、特に私たちクリスチャンが、夫と妻としての役割を果たす上で、どのように神に栄光を帰すことができるのかを示す教訓です。結婚生活の修復とは、どのようなものかを理解し、困難な結婚生活を送っている人々に希望を与えるために、先週見た3節を今日も見えていきます。その3節とは、ホセア書3章の最初の3節です。まず、ホセア書3章1節から3節を読んでみましょう。<sup>1</sup> **主は私に言われた。「再び行って、夫に愛されていないながら姦通している女を愛しなさい。ちょうど、ほかの神々の方を向いて干しぶどうの菓子を楽しんでいるイスラエルの子らを、主が愛しているように。」**<sup>2</sup> **それで私は、銀十五シェケルと、大麦一ホメルと大麦一レテクで彼女を買い取り、**<sup>3</sup> **彼女に言った。「これから長く、私のところにとどまりなさい。もう姦淫をしたり、ほかの男と通じたりしてはいけない。私も、あなたにとどまろう。」**

私たちはまず、このホセアとゴメルの物語がどのように始まったかを思い出す必要があります。まず、神はホセアに、自分に忠実ではない女性と結婚するようと言われました。実際、結婚後に彼女がもうけた3人の子供のうち、少なくとも2人はホセアの子供ではなかったようです。このような裏切りであってもホセアがゴメルとの結婚生活を続けることは可能なのでしょうか？ホセアの結婚を通して神が示された答えは、それは「可能である」というものです。では、そのような結婚生活を続けることは、簡単なことでしょうか？この質問に対する答えは、「いいえ」です。そして、私たちが最初に答えるべき質問は、私たちはそのような結婚生活にとどまる必要があるのか、また、結婚生活を守るためにホセアのような極端な手段を取る必要があるのか、というものです。まず、これらの質問に答えることから始めましょう。マタイによる福音書5章32節を見ると、イエスによるこの質問に対する答えが見えます。<sup>32</sup> **しかし、わたしはあなたがたに言います。だれでも、淫らな行い以外の理由で自分の妻を離縁する者は、妻に姦淫を犯させることになります。また、離縁された女と結婚すれば、姦淫を犯すことになるのです。**マタイによる福音書5章で、イエスは旧約聖書の律法に対して、ユダヤ教の律法学者たちとは異った解釈を示しています。イエスの主張は、律法の目的とは、神が外面的な神聖さではなく、私たちの存在のあらゆる側面における神聖さを求めていることを示すことであり、究極的には、律法は人間の力だけでは神聖さを獲得するのは不可能であることを示すことである、というものです。そのような大きな議論の一環として、当時の律法学者たちは、どんな些細な理由でも離婚することができるかと主張していましたが、イエスは、少なくともこの箇所を通じて、聖書的な離婚の根拠は姦淫か不道徳だけであるとの主張をしているのです。また、コリントの信徒への手紙一でパウロは、もし救われていない配偶者が家を出ていくのならば、出て行かせればいい、と述べており、単に配偶者が家を出ていく場合でも離婚は許される、と主張しています。パウロのこの議論に基づけば、夫や妻が肉体的あるいは、精神的な虐待を受けている場合は、その結婚生活は放棄されるべきであり、虐待を受けている夫や妻を危険にさらすよりも、結婚を終わらせるべきだという主張は成り立つのです。聖書は、すべての結婚に修復が必要であるとか、配偶者が不倫し続けている場合にも、結婚の修復が必要であるとは決して言っていないのです。しかしながら、ホセアの場合は、神によって彼がいるような最悪のシナリオにおいても、赦すようにと命じられているのであり、神はこのような場合においても許しが可能であることを示しているのです。離婚には聖書的に許されるケースがあるという基本的な真理に加えて、ホセアの場合は、不当な扱いを受けた配偶者、すなわち被害者の側が結婚の修復を申し出ているという点を理解しておく必要があります。また、これは男性にも女性にも同じように当てはまるのです。つまり、この場合、ゴメルは姦淫を犯し、売春までしているのですが、ホセアの対応は、不当な扱いを受けた妻にも当てはまるものなのです。

ここで私たちが目の当たりにするホセアの対応とはどのようなものなのでしょうか？ホセアにこのような対応が可能だったのは、彼の人生における神の御業の結果であり、これは人の力のみではありえない赦しなのです。ホセアほどの被害を受けた夫や妻が、その配偶者を許すことができるのはその夫や妻の人生における神の御業ゆえであり、それが唯一の原動力なのです。聖書には、不倫、特にこのレベルの不倫があった場合、離婚することができるという明確に書かれています。しかしながら、離婚は結婚に対する神の意図する結果ではないということも明らかなのです。マルコによる福音書10章2節から9節を見ると、イエスは離婚について次のように述べています。<sup>2</sup>すると、パリサイ人たちがやって来て、イエスを試みるために、夫が妻を離縁することは律法にかなっているかどうかと質問した。<sup>3</sup>イエスは答えられた。「モーセはあなたがたに何と命じていますか。」<sup>4</sup>彼らは言った。「モーセは、離縁状を書いて妻を離縁することを許しました。」<sup>5</sup>イエスは言われた。「モーセは、あなたがたの心が頑ななので、この戒めをあなたがたに書いたのです。<sup>6</sup>しかし、創造のはじめから、神は彼らを男と女に造られました。<sup>7</sup>『それゆえ、男は父と母を離れ、その妻と結ばれ、<sup>8</sup>ふたりは一体となる』のです。ですから、彼らはもはやふたりではなく、一体なのです。<sup>9</sup>こういうわけで、神が結び合わせたものを、人が引き離してはなりません。」言い換えれば、人間の罪のために離婚に関する律法が、旧約聖書の中に存在しているのです。しかし、神の本来の、そして継続的な人間に対するご計画は、一人の男と一人の女が生涯にわたって一つの肉として結ばれることなのです。この計画は、聖書の中において神に従って生きていた男や女によっても度重なること破られ、今日も破られ続けていますが、神の計画は決して変わらないのです。ただ、罪深い人間に対する神の憐れみとして、離婚という地上的な方法で罪の結果を最小限に抑えるために、この律法があるのです。

この修復は神の御業であることに注目してください。ホセアは結婚を修復しようとは思っていないのです。ホセアに、ゴメルと復縁しなさいと、告げるのは神なのです。そして、神はホセアに嫌々、元の鞘に戻れと言っているのではないのです。「子供のために妻を連れ戻す。」「あの女がしたことを私がどれほど軽蔑しているか、あの女に分からせてやる。」というような結婚の修復ではなく、神はホセアに、他の偽りの神々を選び自分を拒んだイスラエルの民を神が愛されたように、この女を愛しなさいと命じているのです。この箇所では神の愛とホセアが持つべき愛の両方に使われている「愛」という言葉は、旧約聖書で神の人への愛を示すときに一般的に使われているHESED、献身的な愛ではないのです。ここでは、人と人との間に強い絆を結ぶ友情と愛情の献身的な愛を示す言葉が使われているのです。これは、夫が妻に対して、妻が夫に対して持つべき愛なのです。しかし、それは信頼関係が崩れたときに壊れてしまうものでもあります。神はホセアに、ただ彼女を連れ戻すのではなく、このようにゴメルを愛するようにと言われているのです。これは、エペソ人への手紙5章で述べられている特に夫が妻に対して持つべき愛の姿と同じなのです。エペソ人への手紙 5章25~33節を見ると、<sup>25</sup>夫たちよ。キリストが教会を愛し、教会のためにご自分を献げられたように、あなたがたも妻を愛しなさい。<sup>26</sup>キリストがそうされたのは、みことばにより、水の洗いをもち、教会をきよめて聖なるものとするためであり、<sup>27</sup>ご自分で、しみや、しわや、そのようなものが何一つない、聖なるもの、傷のないものとなった栄光の教会を、ご自分の前に立たせるためです。<sup>28</sup>同様に夫たちも、自分の妻を自分のからだのように愛さなければなりません。自分の妻を愛する人は自分自身を愛しているのです。<sup>29</sup>いまだかつて自分の身を憎んだ人はいません。むしろ、それを養い育てます。キリストも教会に対してそのようになさるのです。<sup>30</sup>私たちはキリストのからだの部分だからです。<sup>31</sup>「それゆえ、男は父と母を離れ、その妻と結ばれ、ふたりは一体となるのである。」<sup>32</sup>この奥義は偉大です。私は、キリストと教会を指して言っているのです。<sup>33</sup>それはそれとして、あなたがたもそれぞれ、自分の妻を自分と同じように愛しなさい。妻もまた、自分の夫を敬いなさい。この時代において、女性は自由に結婚相手を決めることができず、夫は妻を所有物として扱うことが当たり前でした。しかしながら、このような時代にあっても、神はクリスチャンの結婚生活について異なる姿を描いています。そして、この修復と赦しは、被害者となった夫と妻のいずれもが実践することができるのですが、聖書は、夫により大きな重荷を課しているように思われるのです。聖書は、妻にキリストに倣って夫に服従するように命じていますが、夫はキリストが人を愛したように、女性を愛

すように命じられているのです。イエス・キリストは自ら進んで愛のゆえに教会のために死なれました。イエス・キリストは、私たちと神との関係を修復することや、私たちが神の子となることを強制したのではなく、自ら進んで十字架にかかりました。ローマ人への手紙5：8では、「**しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死なれた**」と書かれています。このような愛のあり方を、あなたはとても難しく、否定的なものとして捉えるかもしれませんが、しかし、もしあなたが夫として、結婚生活の問題を解決するために必要なことは何でもする、イエス・キリストが教会を愛したようにその女性を愛する、ということに消極的なら、問題の根幹は、彼女にではなく、あなたにあるのです。もちろん、これは私自身に対しても言えることなのです。結婚生活を修復するのはゴメルの責任ではありません。結婚を修復するよう命じられたのは、「**再び行って、夫に愛されていながら姦通している女を愛しなさい。ちょうど、ほかの神々の方を向いて干しぶどうの葉子を愛しているイスラエルの子らを、主が愛しているように。**」と神から言われたホセアなのです。

先週、私たちは、ホセアのゴメルに対する愛を、十字架上で私たちの贖いを買取られたキリストの愛に結びつけて考えました。今週は、もう一度、ホセアがどのように結婚生活を修復しようとしたのかを見ていきましょう。もう一度2節を読みます。<sup>2</sup> **それで私は、銀十五シケルと、大麦一ホメルと大麦一レテクで彼女を買取り、**と書かれています。結婚生活を修復するために、ホセアは代償を支払わなければならなかったのです。彼はゴメルにメールを送って、「話がある」と言っただけではないのです。ホセアは、代償を伴う困難な行動を、実行に移しているのです。彼は彼女を売春から買取ったのです。私たち夫にとって、それはどれほど難しいことだと思いますか？彼女は浮気をしていました。誓いを守っていないのは彼女の方だったのです。それなのに、ホセアは、結婚によってすでに自分のものであった妻と一緒にいる権利をわざわざ代償を払って、買取ったのです。しかし、そんなことはどうでもよかったのです。重要なのは、神が愛するようにと告げたこの女性を、ホセアに対して彼女がどんな仕打ちをしようとも、また、ホセアがどんな犠牲を払おうとも、ホセアが愛そうとしたことなのです。私は、転職すれば結婚生活を救えたかもしれないのに、それを望まなかった男性を知っています。また私は、神が男性に対して、その女性を犠牲的に愛するよう求めているにもかかわらず、妻に対して過度な要求をして、それが満たされないからといって妻を責めて離婚に至った男性も知っています。過度に要求することは、神が求めている愛の姿とは真逆のものです。このような離婚は、不倫などのせいではなく、妻に対する聖書的な真の自己犠牲的愛の欠如によるものなのです。皆さんに、私が言っていることは夫に多くの責任を押し付けているように聞こえるかもしれませんが、これが聖書の立場であると私は考えています。エペソ人への手紙5章23節では、「<sup>23</sup> **キリストが教会のかしらであり、ご自分がそのからだの救い主であるように、夫は妻のかしらなのです。**」と書かれています。ここで述べられている頭とは、王としての立場ではなく、愛の僕として自らを捧げる頭の姿なのです。これ以上ははっきりと、結婚の修復は夫の責任であると述べている箇所はあるでしょうか？おそらくないでしょう。妻が結婚生活の破たんの原因になることはあるでしょう。しかし、夫は結婚生活の問題を妻のせいにする前に、自分が妻をどこまで愛しているのかを吟味すべきなのです。クリスチャンの愛とはどのようなものなのでしょうか？コリント人への手紙第一13章4~7節では次のように述べられています。<sup>4</sup> **愛は寛容であり、愛は親切です。また人をねたみません。愛は自慢せず、高慢になりません。**<sup>5</sup> **礼儀に反することをせず、自分の利益を求めず、苛立たず、人がした悪を心に留めず、**<sup>6</sup> **不正を喜ばずに、真理を喜びます。**<sup>7</sup> **すべてを耐え、すべてを信じ、すべてを望み、すべてを忍びます。**このような愛の姿が、夫または妻として、配偶者に対するあなたの愛を表しているのでしょうか？

さて、結婚生活の修復とは、私が配偶者の危険な虐待行為に耐えることだと主張していると、非難される前に、ホセアもまた、ゴメルの罪を指摘していることを見ていきましょう。この箇所で、彼は彼女の罪の解決策に自分自身を含めているようです。もう一度3節を見ていきましょう。<sup>3</sup> **彼女に言った。「これから長く、私のところにとどまりなさい。もう姦淫をしたり、ほかの男と通じたりしてはいけない。私も、あなたにとどまろう。」**ホセアは、この箇所で、ゴメルに「私は

あなたを愛している。その見返りとして、あなたが婚姻の外の関係を求めなくてもすむように、あなたに必要なものを与える」と主張しているのです。おそらくそれは、経済的な援助、愛情、感情的な支えなど、ゴメルがそれまでの結婚生活では得られなかった、彼女に必要なものだったと思われます。ホセアは無条件で彼女を引き取り、彼女が得るに値しない愛で彼女を愛しました。では、なぜ、私たち夫や妻は、配偶者にこのような愛を与えなければならないのでしょうか？それは、救い主イエス・キリストを通して父なる神から私たち自身が愛をいただいているからなのです。ヨハネの福音書 3章16節では、<sup>6</sup> 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである、と書かれています。神が私たちに必要なものをすべて与えてくださったのは、神が私たちを愛しておられることを示すためであり、私たちが神と関係を持つための方法を与えてくださったのも神なのです。先週お話ししたように、神はイエス・キリストの死と流された血によって、私たちの罪を贖ってくださいました。そしてイエスは、私たちに必要なものをすべて与えてくださるのです。ペテロの手紙第二 1章3節には、<sup>3</sup> 私たちをご自身の栄光と栄誉によって召してくださった神を、私たちが知ったことにより、主イエスの、神としての御力は、いのちと敬虔をもたらすすべてのものを、私たちに与えました、と述べられています。イエスは、ホセアや現代の夫（妻）が配偶者のために努力すべきことを、私たちのために完璧にしてくださりました。私たちの最も必要とするものを与えてくださり、そうすることで私たちの望みを変え、ときには私たちが望むものを与えてくださいます。これには、配偶者が私たちに対して犯した最も深い罪を赦すために必要な力も含まれ、それによって傷ついた結婚生活を修復する力を与えてくださるのです。

私たちが教会として、キリストの花嫁として祝うのは、イエス・キリストご自身です。私たちが定期的に口にするこの聖餐式は、イエス・キリストと私たちとの関係、そしてイエス・キリストが私たちをご自分の民として愛してくださっていることを思い起こすためのものです。聖餐式は、イエス・キリストが私たちに対する愛のために捧げた犠牲の姿を表しているのです。もしあなたがイエス・キリストを主であり救い主として受け入れ、バプテスマを受けて従順に従っているのであれば、今日の聖餐式に参加してください。保護者の方は、まだ準備ができていない子どもたちを参加させないことで、洗礼の大切さを教えてあげてください。祈りましょう。

### Hosea 3:1-3 A Marriage Restored

The theme of Hosea is God's faithful love to unfaithful people, and I don't want us to lose sight of that or to try to do things with the text of Scripture that are not really the point of the passage. But, in this story of Hosea and Gomer that is actually just a little bit of the overall book, there are some lessons for human marriage that we can learn within the context of this book. And while these lessons are applicable to all marriage, they are lessons that would help us as Christians better glorify God in our marriages as we seek to honor God in our roles as husbands and wives. I want to look at 3 verses we looked at last week as our key text today that can help us understand what restoration in a marriage looks like and provide some hope for those who find themselves in difficult marriage. The three verses are the first three verses of Hosea 3. Let's read Hosea 3:1-3 as we begin. **3 And the Lord said to me, "Go again, love a woman who is loved by another man and is an adulteress, even as the Lord loves the children of Israel, though they turn to other gods and love cakes of raisins." 2 So I bought her for fifteen shekels of silver and a homer and a lethech of barley. 3 And I said to her, "You must dwell as mine for many days. You shall not play the whore, or belong to another man; so will I also be to you."**

We need to remember first how this story of Hosea and Gomer began. God told Hosea to marry a woman who would definitely not stay faithful to him. In fact it is likely that at least two of the three children she had after they were married were not his children. Can a marriage survive that kind of failure and betrayal? According to God's illustration through the marriage of Hosea, the answer is Yes, it can. Is it easy, no. And really the first question we need to answer is are we required to stay in a marriage or take the extreme steps that Hosea did to save his marriage? Let's start by answering that question. If we look at Matthew 5:32, Jesus leads us to an answer to this question. **Matthew 5:32 says, 32 But I say to you that everyone who divorces his wife, except on the ground of sexual immorality, makes her commit adultery, and whoever marries a divorced woman commits adultery.** In Matthew 5, Jesus is giving the Sermon on the Mount where he is interpreting the Old Testament law in a way that contradicted the legalism of the Jewish religious leaders. He demonstrated that the point of the law was not outward holiness, but holiness in every aspect of your being, which is ultimately impossible. As part of that larger discussion, Jesus says that the improper view of divorce that the Religious leaders were approving were divorcing for any reason, but he says that at least in this passage, the only Biblical grounds for divorce is adultery or immorality. In 1 Corinthians Paul makes the argument that if an unsaved spouse leaves, let them leave, so divorce is allowable for desertion. Based on that desertion argument, you can also make the case that a spouse that physically abuses and in some cases likely emotional abuses their spouse as well has deserted their marriage and the marriage should be ended rather than endangering the abused spouse. So, let's start off by saying that the Bible never says that there must be restoration of all marriages, or that restoration must happen with serial adultery. However, in the case of Hosea, God is showing us that forgiveness is possible even in the worst scenario. In addition to this foundational truth that there are Biblical cases for divorce, we need to also say that while in this case Hosea is the one offering restoration as the one wronged, it can equally apply to men and women as the wronged spouse. So, although Gomer committed adultery, and even prostitution in this case, whatever we see in Hosea's response we could also see in a wronged wife's response as well.

And what is it that we see here? **We see forgiveness being offered that can only be the result of God's work in the life of Hosea.** God's work in the life of a husband or wife who is wronged to the extent that Hosea was, is the only source of strength to forgive the spouse who committed that level of offense. I have attempted to be clear that Scripture seems very clear that adultery especially this level of adultery is cause for divorce. But what is also clear is that divorce is not God's intention for marriage. Look at another passage in Mark 10:2-9 where Jesus addresses divorce and doesn't give the exception he does in Matthew. [Mark 10:2-9](#) says, "Is it lawful for a man to divorce his wife?" 3 He [Jesus] answered them, "What did Moses command you?" 4 They said, "Moses allowed a man to write a certificate of divorce and to send her away." 5 And Jesus said to them, "Because of your hardness of heart he wrote you this commandment. 6 But from the beginning of creation, 'God made them male and female.' 7 'Therefore a man shall leave his father and mother and hold fast to his wife, 8 and the two shall become one flesh.' So they are no longer two but one flesh. 9 What therefore God has joined together, let not man separate." In other words, because of sin, divorce exists, even in the law as given from God's own hand in the Old Testament. But God's original and continuing plan is for one man and one woman to be joined together as one flesh for a lifetime. This was violated over and over again by even Godly men and women in the Bible, and continues to be violated today, but the ideal never changes. It just shows God's mercy to sinful humans that he allowed for the consequences of sin to be minimized in an earthly way through divorce.

Notice that this restoration is God's work. Hosea shows no desire to restore the marriage. It is God who tells him to be restored to Gomer. And it is not supposed to be a begrudging sort of reunion. "I'll take her back for the kids sake, but she will sleep in the other room for the rest of her life." "I'll make sure she knows how much I despise her for what she did." No, God tells Hosea to love this woman as God loved the people of Israel who had rejected him for other false gods. The word for love here in these verses that is used for both God's love and the love that Hosea should have is not the committed love of **HESED** that the Old Testament speaks of God having for us usually. This is the committed love of friendship and affection that forms a strong bond between people. This is the love that husbands should have for wives and wives for husbands. But that is broken when trust is broken. Yet, God tells Hosea to love Gomer in this way, not just take her back. This is the same idea that husbands specifically are commanded to love their wives in Ephesians 5. [Ephesians 5:25-33](#) 25 **Husbands, love your wives, as Christ loved the church and gave himself up for her, ...** Then drop down to verse 28. 28 **In the same way husbands should love their wives as their own bodies. He who loves his wife loves himself.** 29 **For no one ever hated his own flesh, but nourishes and cherishes it, just as Christ does the church,** 30 **because we are members of his body.** 31 "Therefore a man shall leave his father and mother and hold fast to his wife, and the two shall become one flesh." 32 **This mystery is profound, and I am saying that it refers to Christ and the church.** 33 **However, let each one of you love his wife as himself, and let the wife see that she respects her husband.** In a time period where women had little or limited freedom to determine who they would marry, and husbands could and many times did treat their wives as property, God paints a different picture of Christian marriage. And let me just point out here that while this model of restoration and forgiveness can and should be practiced by either a wronged husband or wife, the Bible seems to place a greater burden on husbands to seek restoration in the marriage. While wives are told to submit in Christlikeness to their husbands, it is the man who is

commanded to love in a way that reflects Christ. Jesus Christ died for the church out of love. He didn't argue us into a relationship with him. He didn't force us to become a child of God. He laid down his own life as [Romans 5:8 says, while we were still sinners, Christ died for us](#). So this may come across as a very difficult and negative idea, but if you as a husband are unwilling to do whatever it takes to resolve the problems in your marriage, to love that woman as Christ loved the church, the primary source of the problem is not her, it is you. I speak to myself in this as well, of course. It wasn't on Gomer to fix the marriage, in fact she was living in sin. The command to restore the marriage was given to Hosea who was told to **“Go again, love a woman who is loved by another man and is an adulteress, even as the Lord loves the children of Israel, though they turn to other gods and love cakes of raisins.”**

Last week we looked at how Hosea loved her and tied it into Christ's love for us when he purchased our redemption on the cross. But I do want to look at it again and see how he sought to restore his marriage. Read verse 2 again. **2 So I bought her for fifteen shekels of silver and a homer and a lethech of barley.** Restoration of his marriage cost Hosea something. He didn't just send her a text and say, “we need to talk.” He put actions, costly and difficult actions, with his words. He purchased her out of her prostitution. Now how difficult would that be for any of us as husbands to do? She was the one who was cheating on him. She was the one not keeping her vows. And yet, Hosea was buying a right to be with his wife that was already his by marriage. But that didn't matter. What mattered was that he was going to love this woman that God had told him to love no matter how she had treated him or what it cost him. I know some men who likely could have saved their marriages by changing jobs, but they weren't willing to. I know men who would not even attempt to be less demanding, and have ended up in divorce blaming their wives, even though God calls men to be the ones to love sacrificially. That is the opposite of being demanding. And it's not because of adultery or anything else, but due to a lack of true Biblical self-sacrificing love for their wives. I know that it sounds like I am placing much of the blame at the feet of husbands, but that seems to be the Bible's position as well. [Ephesians 5:23 says that 23 For the husband is the head of the wife even as Christ is the head of the church, his body, and is himself its Savior](#). But that position as head is not one of king, but of loving servant self-denying leadership. Can I say that any more clearly or step on the toes of husbands including my own anymore? Probably not. Can wives be responsible for the downfall of a marriage? Of course, but I would challenge husbands to examine just how far you have really gone to love your wife before blaming her for the problems in the marriage. Do you want to know what love looks like for a Christian? [1 Corinthians 13:4-7 says, 4 Love is patient and kind; love does not envy or boast; it is not arrogant 5 or rude. It does not insist on its own way; it is not irritable or resentful; 6 it does not rejoice at wrongdoing, but rejoices with the truth. 7 Love bears all things, believes all things, hopes all things, endures all things](#). Does this describe your love as a husband especially but as a husband or wife towards your spouse?

Now, before you accuse me of saying that restoration in a marriage means putting up with dangerous abusive behavior on the part of a spouse, I want you to see that Hosea also confronted the sin on Gomer's part. But, he also seems to include himself in the solution for her sin. Look at verse 3 again. **3 And I said to her, “You must dwell as mine for many days. You shall not play the whore, or belong to another man; so will I also be to you.”** Hosea says, I love you, and I will buy you back, and I do not want you to go back

to other men. But in return, he says, I will be to you what you need so you will not need to pursue other relationships outside of the marriage. Perhaps this is financial support, physical affection, emotional support or whatever other thing she needs that she was not getting in the marriage. Hosea took her back unconditionally and loved her with a love she did not deserve or earn. Why should we as husbands or wives give this kind of love to our spouses? Because it is the kind of love we have been given by God the Father through our Savior Jesus Christ. [John 3:16 says, 16 “For God so loved the world, that he gave his only Son, that whoever believes in him should not perish but have eternal life.](#) God gave us everything we needed in order to show us he loved us and to provide a way for us to be in a relationship with him. As we discussed last week, he provided the redemption for our sins through the death and shed blood of Jesus Christ. And Jesus gives us everything we need, he becomes everything to us, although we fail to recognize that far too many times. [2Peter 1:3 says of Jesus, 3His divine power has granted to us all things that pertain to life and godliness, through the knowledge of him who called us to his own glory and excellence...](#) Jesus does perfectly for us what Hosea and husbands (and wives) today should be striving to do for our spouses. He provides for our deepest needs and in so doing changes our desires or even gives us what we desire. This includes the strength we need to forgive the deepest sin committed against us by our spouse, and with that providing restoration to hurting marriages.

It is Jesus Christ who we celebrate as his bride the church. This communion meal that we regularly take is reminder of our relationship to him and his love for us as his people. It is a picture of the sacrifice he made out of love for us. If you have accepted Jesus Christ as your Lord and Savior and followed him in obedience by being baptized then I invite you to join us for communion today. For parents, you teach your children the importance of baptism by not allowing them to participate if they are not yet ready. Let's pray.